

1 「鳥取学」地域探究の目的

- ①地域の企業、教育・研究機関の方々と協働しながら地域・社会にある課題解決に向けた取り組みを行うことで、郷土や自然に愛着を持ち、新たな価値を創造する高校生の育成を目指す。
- ②地域課題の解決方法を提案する上で、課題についてデータを通して検証する姿勢を育成する。

2 「鳥取学」地域探究の研修内容

- ①地域連携とフィールドワークを通じた課題解決型活動
- ・連携先の事業・研究内容を知り、社会・地域とのかかわり、地域社会が抱える課題への取り組みを知る。
 - ・課題解決のために研究班が考えたアイデアを発表し、より良いものにするためにアドバイス等をいただく。
- ②理数的な見方・考え方を踏まえた専門研究の実践
- ・理数的な見方・考え方を働かせて専門研究に取り組み、成果等について効果的に発表する。

3「鳥取学」地域探究成果発表会の目的と内容

目的

自分たちの考えた課題解決方法を発表することでコミュニケーション力やプレゼンテーション力を高めるとともに、研究の成果と課題を明確にする。

内容

課題解決のために研究班が考えたアイデアを発表し、よりよいものにするためにアドバイス等をいただく。地域探究について、第一人者である竹内由佳准教授に講義をしていただくことで知識を深める。

4 「鳥取学」地域探究の年間計画(第2学年)

4/16	探究学習オリエンテーション・キャリアパス記入
4/23	ミニ探究活動
4/30	地域探究講演会「NPO 法人 bankup 中川 玄洋氏」
5/7	「鳥取学」地域探究① ～概要説明・コース希望調査・データサイエンスについての説明
5/14	「鳥取学」地域探究② ～コース別オリエンテーション・探究計画作成
5/21	「鳥取学」地域探究③ ～連携先とのミーティング会議
6/ 4	「鳥取学」地域探究④ ～図書館ガイダンス
6/11	「鳥取学」地域探究⑤ ～情報収集
6/18	「鳥取学」地域探究⑥ ～情報収集
6/25	「鳥取学」地域探究⑦ ～検証
7/ 2	「鳥取学」地域探究⑧ ～検証
7/ 9	「鳥取学」地域探究⑨ ～連携先との中間ミーティング会議
7/16	「鳥取学」地域探究⑩ ～整理・分析
9/10	「鳥取学」地域探究⑪ ～まとめ・表現
10/15	「鳥取学」地域探究⑫ ～発表練習
10/22	「鳥取学」地域探究⑬ ～コース別発表会2時間（連携先にアドバイスを頂く）
10/29	「鳥取学」地域探究⑭ ～ブラッシュアップ
11/ 5	「鳥取学」地域探究⑮ ～クラス発表会①
11/12	「鳥取学」地域探究⑯ ～クラス発表会②
11/19	「鳥取学」地域探究⑰ ～学年発表会2時間連続

5 日時

令和7年11月19日(水) 午後2時50分～午後4時30分

6 場所

鳥取県立鳥取東高等学校 第1体育館

7 日程

14:50～14:51	開会行事
14:51～14:52	講師紹介
14:53～14:55	発表準備
14:55～15:00	発表1
15:01～15:06	発表2
15:07～15:12	発表3
15:13～15:18	発表4
15:19～15:24	発表5
15:25～15:30	発表6
15:30～15:40	休憩（終了時間に合わせて休憩時間を調整）
15:40～15:45	発表7
15:46～15:51	発表8
15:52～15:57	発表9
15:58～16:06	理数科課題研究中間発表（同時進行…審査結果の集計） アルコールを使ったストレス耐性付与 （井伊 葵陽、見生 美優羽、田中 陽色、中村 陽愛、山本 輝泰、横山 暖乃）
16:08～16:20	講評・探究活動に関する助言（竹内准教授）
16:20～	結果発表・表彰式（最優秀賞1・優秀賞2）
16:28～	閉会行事・諸連絡

8 審査員

審査委員長 竹内由佳准教授
菅生第2学年主任
佐々木理数探究部長

探究コース・協力企業並びに事業所

①鳥取の歴史や文化を活かし魅力ある観光地に(地域創生学・観光学)

1. 吉岡温泉会館一ノ湯
2. 一般社団法人 鳥取市観光コンベンション協会

②医療・福祉の面から全ての人を支える鳥取に(社会福祉学・心理学)

1. 社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会
2. 一般社団法人 Psychoro

③成長分野で次世代鳥取をつくる(機械工学・情報工学・デザイン学)

1. 株式会社 清水
2. 株式会社 Web もり

④大自然をいかし魅力あふれる鳥取に(農学・畜産学・マーケティング学)

1. 株式会社 兎ッ兎ワイナリー
2. 有限会社 ひよこカンパニー

⑤子どもたちの笑顔あふれる鳥取に(教育学・児童学・スポーツ学)

1. 合同会社 イッポラボ
2. NPO 法人 bankup

⑥新たなビジネスチャンスで活気あふれる鳥取に(経済学・経営学)

1. 株式会社 シーセブンハヤブサ
2. 株式会社 丸由百貨店